

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	色彩論Ⅱ	初谷希代香	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
色彩論Ⅰの内容から、さらに色彩の知識を深めていきます。配色の応用方法と活用のしかた、UC（色のユニバーサルデザイン）など、色の捉えられ方や、調和論を活用した表現の取り組みを行います。			
【講義概要】			
色の効果を活用した作品の制作（コンクール応募作品含む） AFT色彩検定2級・UC（色のユニバーサルデザイン）級対応。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	カラーイメージと配色1（課題①）		
2	カラーイメージと配色2（課題②）		
3	課題①、②制作		
4	課題①、②制作		
5	課題①、②制作		
6	配色技法について（課題③）		
7	課題③制作		
8	色の表示：色名・マンセル表色系（課題④）		
9	課題④制作		
10	課題④制作		
11	UC（色のユニバーサルデザインについて）（課題⑤）		
12	課題制作⑤		
13	コンクール作品説明と制作		
14	コンクール作品制作、色彩検定質問対応（希望者）		
15	コンクール作品制作、色彩検定質問対応（希望者）		
16	コンクール作品制作、色彩検定質問対応（希望者）		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1972年埼玉県生まれ。東洋工学専門学校（現東京環境工科専門学校）インテリアデザイン科卒。 住宅地図会社勤務後、グラフィックデザイナーの伴侶のもとで、色彩提案、CGデザインアシスタントを行いながら、色彩講師、パーソナルカラーアドバイザーとして活動中。AFT認定色彩講師。UC級認定講師。UC級アドバイザー。1級カラーコーディネーター（ファッション）。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	フランス語II	内田雅之	2単位 37.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
フランス語1の修了者を対象として、一年次に習得した基礎力を基盤としながら会話表現・文法の両面での知識を広げていきます。また、少しずつ書かれたものを読む練習も行います。			
【講義概要】			
前期は、まず問題練習などを通じて、書くという別観点を少し意識しながら昨年の復習を行います。その後複合過去、単純未来へと文法面で次のステップへと移っていきます。後期は、フランス旅行の機会を想定して、オリジナルのフランス旅行のしおりを作成していく課題が課され、校内展示の機会を設けます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	17	講義
2	講義	18	講義
3	講義	19	講義
4	講義	20	講義
5	講義	21	講義
6	講義	22	講義
7	講義	23	講義
8	講義	24	講義
9	講義	25	講義
10	講義	26	講義
11	講義	27	講義
12	講義	28	講義
13	講義	29	講義
14	講義	30	講義
15	講義	31	講義
16	中間試験	32	後期試験
【成績評価方法】			
<p>期末ごとに試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1969年福岡県生まれ。早稲田大学大学院文学研究科仏文専攻修士課程修了。多摩美術大学非常勤講師。また俳優養成所を経て映画・舞台に出演、受賞作多数。またTHEATRE茶房の冠でプロデュースも行ない、ギャラリー・プリントでの『クロワゼ』公演、朗読、ミュージシャンやビデオアートとのコラボレーションなど活動の幅を広げている。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	特別講座/就職セミナー	ゲスト講師	1単位 18時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>特別講座：現代社会においてクリエイターの役割は益々重要性を増し、その領域は日々拡大しつつあります。講座では創作における考え方、発想法をリアルタイムな講義を通して学んでいきます。</p> <p>就職セミナー：就職活動から入社後の心構えやクリエイターとしての取り組みなどについてセミナー講座を開催。 *1年生は夏課題と合わせて単位修得</p>			
【講義概要】			
7/11(土)就職セミナー1（卒業生）、9/5(土)海外留学準備コース講座1、9/26(土)同窓会特別講座、10/2(金)海外留学準備コース講座2、12/12(土)創形展特別講座、2/13(土)就職セミナー（就活ポートフォリオ）			
回	授業計画及び学習の内容		
1	就職セミナー1		
2	海外留学準備コース講座1		
3	同窓会特別講座		
4	海外留学準備コース講座2		
5	創形展特別講座		
6	就職セミナー（就活ポートフォリオ）		
【成績評価方法】			
<p>課題提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とする。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語能力試験N1対策	蔣 燕萍	2単位 63時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>①日本語能力試験N1に合格できる力を付けること。 ②試験対策にとどまらない全般的な語彙の力をつけること。</p>			
【講義概要】			
試験に出題される「文字語彙」「文法」「聴解」の練習問題の解答を通じて日本語力を向上させること。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	17	講義
2	講義	18	講義
3	講義	19	講義
4	講義	20	講義
5	講義	21	試験
6	講義		
7	講義		
8	講義		
9	講義		
10	講義		
11	講義		
12	講義		
13	講義		
14	講義		
15	講義		
16	講義		
【成績評価方法】			
<p>試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。 2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ベーシックイラストレーションA	福井真一	1単位 39時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>①日本語能力試験N1に合格できる力を付けること。 ②試験対策にとどまらない全般的な語彙の力をつけること。</p>			
【講義概要】			
試験に出題される「文字語彙」「文法」「聴解」の練習問題の解答を通じて日本語力を向上させること。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	制作指導		
3	制作		
4	制作指導		
5	制作		
6	制作指導		
7	制作		
8	制作指導		
9	制作		
10	制作指導		
11	制作		
12	制作指導		
13	講評会		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1958年生まれ。青山学院大学経営学部中退。イラストレーター。F-SCHOOL OF ILLUSTRATION 主宰。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	デジタルイラストレーション	花島百合	1単位 39時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
パソコンを使ってイラストを制作してもらいます。ソフトの長所や技術など、コンピューターを通しての作品作りを学びます。			
【講義概要】			
イラストレーター、フォトショップを使ったイラストレーションの制作。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	制作		
3	制作指導		
4	制作		
5	制作指導		
6	制作		
7	制作指導		
8	制作		
9	制作指導		
10	制作		
11	制作指導		
12	制作		
13	講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 創形美術学校卒業後よりイラストレーターとして活動。ザ・チョイス入選。CWCチャンス展セミファイナリスト入選。仕事は、商品、雑誌、カタログ、パッケージ、書籍のイラスト、TV番組、Flashアニメのキャラクターデザインなど。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	メディアブランディング基礎	佐藤芽生	2単位 45時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
メディアとはなにかを『知り』、『考え』、『アウトプットする』の工程を繰り返し経験し、クリエイティブに向かう基本姿勢を身に着けることを目指します。			
【講義概要】			
メディアの性質を学び、思考を制作物に落とし込むワークを行います。また、他者との対話を通じて集客課題に取り組みます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション① (想定課題)		
2	企画/プレゼン演習		
3	ラフ制作		
4	制作		
5	制作指導		
6	制作/プレゼン準備		
7	講評①		
8	オリエンテーション② (グループ制作)		
9	企画		
10	企画		
11	ラフ制作		
12	制作		
13	制作/プレゼン準備		
14	制作/プレゼン準備		
15	講評② (ふりかえり)		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1990年生まれ。創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業後、web制作会社に入社。その後、一般企業でインハウスデザイナーとしてブランディングを担当。現在はフリーで活動。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	エディトリアルイラストレーション基礎	いとう瞳	1単位 45時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>自らの作品の中のオリジナリティを見つけ、その部分をどう課題に生かすかその方法を探る。またイラストレーターという仕事の上で自らの作品を客観的に見ることを意識する。</p>			
【講義概要】			
<p>講評と課題を元に本の挿絵や挿画への表現方法を学習します。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	課題制作・説明(メール課題提出)		
3	制作		
4	制作(進行チェック)		
5	制作		
6	講評/講評		
7	制作		
8	課題説明/制作		
9	制作		
10	制作(ラフ・進行チェック)		
11	制作		
12	制作(ラフ・進行チェック)		
13	制作		
14	講評		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100~95：A+ 94~80：A 79~70：B 69~60：C) 不合格(59~0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1973年千葉県生まれ。東京都在住。1996年武蔵野美術大学油絵学科版画コース卒業。1999年PALETTE CLUB SCHOOL受講。以後フリー。主な表現技法はアクリルガッシュによる手描き。受賞歴/The Choice入賞、HB FILE コンペ鈴木成一賞、ヨコハマコンペ最高賞等。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	イラストレーション個性と表現	飯田 淳	2単位 48時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
週1回の実技指導を通じて、各自の魅力に気付いていくために課題を制作する。アイディアと完成度のバランスも考える。			
【講義概要】			
自分の個性に気づき、それを表現力に繋げ、オリジナリティーある作品を制作する。色々な材料や道具と出会い技法も発見する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	制作指導		
3	制作指導		
4	課題作品講評		
5	制作指導		
6	制作指導		
7	制作指導		
8	制作指導		
9	課題作品講評		
10	制作指導		
11	制作指導		
12	制作指導		
13	課題作品講評		
14	制作指導		
15	制作指導		
16	講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1955年東京都生まれ。多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。『HERMÈS Collection Homme Automne-Hiver 2008 INVITATION』のイラストレーション。『THE CONRAN SHOP』07と08のオリジナルイラストダイアリー。『an・an』『クロワッサン』『クーネル』など、多数の女性誌イラストレーション。雑誌『GINZA』のロゴデザイン。原宿のハンカチーフショップ『パルトゥーズ』をプロデュース。TIS会員。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	描写イラストレーションA	関根秀星	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
モノの本質的、外見的な観察力を養い、正しいプロポーションで描く。インプットからアウトプットへ、表現における一連の作業の大切さ、方法を学ぶ。講評により、自作品を客観的に見る力をつける。			
【講義概要】			
鉛筆を用いてモチーフを描く。最終課題では画面構成や見せ方も意識し、作品としての高い完成度をを目指す。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	制作指導		
3	課題作品講評		
4	制作指導		
5	課題作品講評		
6	制作指導		
7	制作指導		
8	制作指導・講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 2008年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業。Free Art Magazine S 編集兼、掲載アーティスト。千葉デザイナー学院非常勤講師。鉛筆と色鉛筆を用い、フットボールイラストレーション、ポートレイトを中心に描くイラストレーター。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	映像ワークショップ	三田村光土里	1単位 30時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>現代社会のクリエイティブ環境の中には、ますますアートの感性や発想を求められる機会が増えてきています。それらは目指す共通の理念がアートとデザイン共に人に「感動」を与える事を目標にしているからに他なりません。そういった時代の流れを受けて様々なアートの分野より活躍している講師からリアルタイムな現場の情報と方法論を学び、クリエイティブな発想の「入口」、「きっかけ」になる講座をめざします。</p>			
【講義概要】			
<p>フォト・ストーリーをつくる</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	制作チェック		
3	制作		
4	制作チェック		
5	制作チェック		
6	制作		
7	制作チェック		
8	制作チェック		
9	制作		
10	発表・講評		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 現代美術家。1964年生まれ。写真を使った空間作品を国内外で発表。2006年ウィーン分離派館にて個展。2003年東京都写真美術館『日本の新進作家展vol.2』。2016年あいちトリエンナーレ他。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ベーシックイラストレーションB	都築 潤	1単位 21時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
イラストレーションについての考察。イラスト作成に必要な基本的な予備演習を行います。			
【講義概要】			
イラストレーティング、既存のメディアへのイラストの実装 1：メディアやテーマの要求に応えるためのイラスト制作 2：イラストレーション、ビジュアルデザインについての考察			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	制作チェック		
3	制作		
4	制作チェック		
5	制作チェック		
6	制作		
7	発表・講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1962年生まれ。日本グラフィック展、ザ・チョイス年度賞、クレセントイラストコンペ、年間日本のイラストレーション、毎日広告賞、TIAA、カンヌ国際広告祭、アジアパシフィック広告祭、その他で受賞。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	実践イラストレーション	信濃八太郎	1単位 42時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
イラストレーターとしての表現の幅を広げるためには体験、実験を軸とした技法を「創造」する必要がある。それを仕事の現場を想定した課題の中から学ぶ。			
【講義概要】			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	制作指導		
3	制作		
4	制作指導		
5	制作		
6	制作指導		
7	制作		
8	制作指導		
9	制作		
10	制作指導		
11	制作		
12	制作指導		
13	制作		
14	講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1974年生まれ。イラストレーター。日本大学芸術学部演劇学科舞台装置コース卒業。重要文化財自由学園明日館、ペーターズギャラリー勤務を経てフリーに。雑誌、書籍、広告などのほか、舞台美術やアニメーション作品の制作も行う。東京イラストレーターズソサエティ会員。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	イラストレーション表現基礎	山碓杉夫	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>「アートとイラストレーションの違いとはなんだろう？」そんな基本的なところから始めて、実技を通してイラストレーションへの理解と興味を深めていきます。ピカソと言う誰でも知っている人物と侶品をテーマにしてイラストレーションに仕上げていきます。</p>			
【講義概要】			
<p>身近なテーマから自分なりの視点と方法でイラストレーションを創ることを経験し、絵とイラストレーションの違いを認識すると共に、自主的に制作する習慣を身につけることを目標にします。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	制作		
3	制作		
4	制作／中間発表		
5	制作		
6	制作		
7	制作		
8	講評会		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1968年東京都生まれ。神奈川県在住。立教大学経済学部卒。会社員生活を経てセツ・モードセミナー、安西水丸のイラスト塾で学ぶ。イラストレーターとして主に書籍、雑誌を中心に活動中。第21回ザ・チョイス年度賞入賞。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	描写イラストレーションB	須田浩介	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
対象物をよく見る事でその物の持つ色や質感などを捉え、アクリル絵の具を混色する事や、色を重ねる事で生の絵の具やデジタルでは生み出せない色を自らの手で作り対象の持つ色の再現度を高める事を目指します。			
【講義概要】			
水張りした紙、アクリルガッシュ、筆を使用し用意したモチーフをカラーで描く、絵の具を使う時のルールを授業時に指示します。イラストレーションにおけるリアリティーと想像で描く事とモチーフを見て描く事の違いを考え学ぶ。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	モチーフを見て描く		
3	制作		
4	中間講評		
5	コラージュしたモチーフを描く		
6	制作		
7	制作		
8	講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 イラストレーター。2008年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業、同年シテデザールに派遣。2008年～2013年フリーアートマガジンS発行、雑誌・装画・ポスター等の仕事を手がけ、アクリル絵の具を使ったファッション感のある人物、動物等を主に描く。跡見学園女子大学イラスト非常勤講師			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	製本実習	山口茉莉	1単位 21時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
簡易なノート制作と、自分だけの上製本を制作します。			
【講義概要】			
本の造り、紙の持つ性質を学び、実際に製本する過程を通して「本」そのものの価値を考えます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	制作		
3	制作		
4	中間チェック		
5	制作		
6	制作		
7	講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 2006年女子美術大学芸術学部絵画学科卒業。2008年同大学院研究領域版画修了。2015年英国JADE BOOKBINDING STUDIOにて研修。近年は「空想建築」を主題として平版画、陶、製本の技術を生かしたミクスト メディア作品等を制作発表している。(社)日本版画協会準会員。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ファッションイラスト	平沢けいこ	2単位 63時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
与えられたテーマの中で自分の世界を表現しつつも自己満足に終わらず、他者にも伝わるイラスト表現を考える。			
【講義概要】			
テーマに沿ったイラストを制作。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション/課題の出題	17	制作過程チェック
2	制作	18	制作
3	制作	19	制作
4	制作	20	制作
5	制作	21	講評会
6	制作過程チェック		
7	制作		
8	制作		
9	制作		
10	制作		
11	制作		
12	制作		
13	講評会/課題の出題		
14	制作		
15	制作		
16	制作		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1970年東京都生まれ。PATER大賞展PATER賞受賞。テンプスタッフ『テンプリん。』などのキャラクター他、広告・出版など主に女性向けのイラストレーションを手掛ける。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	イラストレーション個性と技法	飯田 淳	2単位 42時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
与えられたテーマの中で自分の世界を表現しつつも自己満足に終わらず、他者にも伝わるイラスト表現を考える。			
【講義概要】			
テーマに沿ったイラストを制作。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	制作指導		
3	制作指導		
4	課題作品講評		
5	制作指導		
6	制作指導		
7	制作指導		
8	制作指導		
9	課題作品講評		
10	制作指導		
11	制作指導		
12	制作指導		
13	制作指導		
14	講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1955年東京都生まれ。多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。『HERMÈSCollection Homme Automne-Hiver 2008 INVITATION』のイラストレーション。『THE CONRAN SHOP』07と08のオリジナルイラストダイアリー。 『an・an』『クロワッサン』『クーネル』など、多数の女性誌イラストレーション。雑誌『GINZA』のロゴデザイン。原宿のハンカチーフショップ『パルトゥーズ』をプロデュース。TIS会員。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	イラストコミック	石山さやか	1単位 33時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
これまで培ってきた自分の作風・興味のあるテーマを大事にしつつ、さらに発想力・考える力を磨いてゆきます。			
【講義概要】			
よく知られるおとぎ話の要素を置き換え、自分の漫画作品に仕上げる『翻案』を行います。物語の趣旨を捉える理解力、自分なりのアイデアを含め、作りあげる発想力を問います。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション・プレスト		
2	制作指導		
3	制作指導		
4	進捗チェック（ネーム）		
5	制作指導		
6	進捗チェック（ネーム直し・下書き）		
7	制作指導		
8	進捗チェック（作画）		
9	制作指導		
10	制作指導		
11	講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1981年埼玉県生まれ。創形美術学校ビジュアルデザイン科イラストレーション専攻卒業。都内の広告代理店で勤務後、イラストレーター・漫画家としての活動を始める。主な仕事は書籍装丁、雑誌挿絵、児童書挿絵、CDジャケットなど。2017年に初の単行本『サザンウィンドウ・サザンドア』（祥伝社）発売。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	絵本イラストレーションA	竹内通雅	1単位 21時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
絵本表現における言葉と絵の関係性について考察し、実技演習を通して表現力、技術力を培う。			
【講義概要】			
同一テーマで手製絵本を制作する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	ガイダンス、課題説明 プロット等確認、相談。ラフ画制作		
2	ラフ画チェック		
3	本画制作		
4	進捗状況チェック		
5	本画制作チェック		
6	仕上げ相談、制作		
7	講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1957年長野県生まれ。1979年創形美術学校研究科版画課程修了後現代美術作家として活動。1983年よりイラストの仕事を開始。1986年第3回ザ・チョイス年度賞大賞受賞。1996年から絵本作家として活動中。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	エディトリアルイラスト	宮古美智代	1.5単位 69時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
イラストレーションのマーケットにおいて、エディトリアルの占める割合は大きい。実際のエディトリアルデザインの現場に携わるアートディレクターによる実習。ADの視点において評価していく。			
【講義概要】			
与えられた短編を読み、その文章のためのイラストを描く。文章を読み解き、何を描くべきか、また、どのようにレイアウトデザインにおとしこんでいくか。その考えと実制作を行なう。			
①. 各学生の作品を見る。短いエッセイを読んでもらい、どんな絵を描きたいと思うかディスカッション			
②. 雑誌や絵本等を見て、イラストと文章の関係について考えてみる。短編を読み、描くモチーフ、ページ構成を考える。			
③. 描き上げた絵をスクリーンに映し、その絵がどのようにレイアウトされていくかを説明しつつ、実践。各自講評			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	17	課題制作、進行状況確認
2	制作	18	制作
3	制作	19	制作
4	制作	20	制作
5	制作	21	制作
6	制作	22	制作
7	課題説明、ラフ作成	23	講評会
8	制作		
9	制作		
10	制作		
11	制作		
12	ラフ確認、課題制作		
13	制作		
14	制作		
15	制作		
16	制作		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1976年生まれ。アートディレクター。イラストレーター・石倉ヒロユキ、装幀家・緒方修一のアシスタントを経て、現在、雑誌『Coyote』『MONKEY』『暮しの手帖』のアートディレクター。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	デザインの仕事と現場	大久保裕文	1単位 39時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
印刷媒体を中心としたグラフィックデザインのアイデアや実際の作業の説明。			
【講義概要】			
いままで経験したデザイン事例の解説。数回、編集者やカメラマンを呼んで、彼らとの仕事の関連事例を伝える。課題としては街の風景写真、フライヤー制作、アルファベットのタイポグラフィ制作など。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義、ディスカッション		
3	講義、ディスカッション		
4	講義、演習		
5	講義、ディスカッション		
6	講義、ディスカッション		
7	講義、演習		
8	講義、ディスカッション		
9	講義、ディスカッション		
10	講義、演習		
11	講義、ディスカッション		
12	講義、ディスカッション		
13	発表・講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義およびディスカッション形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1959年東京都下谷生まれ。セツ・モードセミナー、桑沢デザイン研究所卒業。雑誌を中心に書籍、ポスター、新聞広告等で活動中。2005年、2006年読売広告金賞。2009年桑沢賞受賞。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	テーマ表現イラスト	カトウフレンド	1.5単位 66時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
商業施設ポスター（その商業施設の何周年かのアニバーサリー様ビジュアル）を想定としたイラスト制作。			
【講義概要】			
イラストレーションとして世の中に出た際に自分で描いた絵がどのように見えるのか、また目的があるビジュアルイメージをどのように表現できるかを考えて制作。商業施設のビジュアルとしてあまり縛りがないイラストを描き、文字が入る事を想定し、仕事として描いた場合の工夫を行なう。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	17	制作チェック
2	制作	18	制作
3	制作	19	制作
4	制作	20	制作
5	制作	21	制作
6	制作	22	講評会
7	制作チェック		
8	制作		
9	制作		
10	制作		
11	制作		
12	制作チェック		
13	制作		
14	制作		
15	制作		
16	制作		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1984年生まれ。創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業。東京とNEWYORKを拠点に活動。アサヒビール（株）、PATRICK、DHCをはじめ、『an・an』『旅』『OSEANS』『風とロック』など様々な媒体へイラストを提供。2006年からは毎年各地で展覧会を開催。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	絵本イラストレーションB	岡山伸也	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
既存の物語という限定された条件の中、制作することで、いかにして自分のオリジナリティを反映させ作品、商品として質の高い絵本に仕上げていくかを学びます。			
【講義概要】			
名作物語やおとぎ話に挿絵を描く形で絵本を制作します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	絵コンテ製作		
3	絵コンテ講評		
4	ラフ～本描き		
5	本描き		
6	本描き		
7	本描き		
8	製本・講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1982年茨城県生まれ。2006年創形美術学校ファインアート科卒業。2007年同校研究科絵画造形課程修了。2008年パリ国際芸術都市滞在。国内外で個展やグループ展を開催。絵本やイラストの仕事多数。絵本『とおいほしでも』（文/内田麟太郎、絵本塾出版）『ゆきわたり』（文/宮沢賢治、河出書房新社）など。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	先端メディア	八幡純和	1単位 21時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
VRという技術とそこに連動して様々な新しい魅力を展開しているサービスへの理解。また先端技術を応用した作品制作への展開。			
【講義概要】			
ゲームやファッションの世界だけでなく現代の様々なカルチャーやサービス、イベントなどと連動して発展している「VR（バーチャルリアリティ）」の世界。そのVRの仕組みと特性を理解しながらバーチャル空間ならではの作品制作を個々に試みます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	企画・演出		
3	企画・演出		
4	制作		
5	制作		
6	制作		
7	講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 携帯キャリア公式コンテンツ配信プラットフォームやアプリストアなど、主に大規模システムの開発・運用に携わる。 2015年 Psychic VR Lab 設立に参画。三越伊勢丹やパルコ、ファッションブランドとVRを活用した様々な企画・製作を手掛ける。2018年パルコらと共に様々なクリエイター／アーティストとVR/MRを使って超体験をデザインするプロジェクト NEWVIEW をスタート。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	イラストアニメーション	飯田 萌	1単位 48時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
手描き、コマ撮りなど様々なアニメーション表現を作品鑑賞から探り、絵が動く楽しさを、自身の制作を通し経験する。			
【講義概要】			
様々なアニメーション作品の鑑賞とアニメーション制作。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	作画と作品鑑賞		
2	制作		
3	制作		
4	制作		
5	作画と作品鑑賞		
6	制作		
7	制作		
8	作画と作品鑑賞		
9	制作		
10	制作		
11	制作		
12	制作		
13	編集		
14	編集		
15	編集		
16	上映会（講評）		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 2010年多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。2012年同大学院修了。フジテレビ『ペビスマ』、NHK『デジスタ・ティーンズ』にて作品紹介。アニメーション作品『臓器大学』が学生CGコンテスト銀賞、TSSショートムービーフェスティバル佳作受賞など。2015年タンパリンギャラリーにて個展。その他、MONSTER展（ヒカリエ）、MONSTER展inNYなど多数。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	プロダクトイラストレーション	緒方 環	2単位 60時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
商品に付加価値を与えるための「絵」としてイラストレーションを制作する。同時に雑貨マーケットのイラストレーションを研究する。			
【講義概要】			
プロダクトイラストレーションについて、いくつかのテーマをもとに実際のシチュエーションを想定し、制作する。イラストレーションを使ったオリジナルプロダクト製品及びロゴやパッケージ等を制作する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション／第一回課題の説明	17	第三回課題途中経過発表
2	制作	18	制作
3	制作	19	制作
4	制作	20	講評会
5	制作		
6	制作		
7	第一回課題講評・第二回課題説明		
8	制作		
9	制作		
10	制作		
11	制作		
12	第二回課題講評・第三回課題説明		
13	制作		
14	制作		
15	制作		
16	制作		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1968年生まれ。多摩美術大学テキスタイルデザイン科卒業後、渡仏。2年間のパリ滞在を経てフリーのイラストレーターに。女性誌を始め、書籍、企業カタログ、アパレルブランドイメージビジュアル、商品パッケージへのイラスト提供。2011年よりテーブルウェアブランド『hakuji』のデザイン&プロデュース。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	就活ポートフォリオ/インターンシップ	上野仁志、山本哲次	2単位 90時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>仕事に対しての意識を高め、就職活動を知り、将来計画のきっかけをつくることを目標とします。 インターンシップを経験することにより、専門的知識についての実務能力を高めるとともに、学習意欲に対する刺激を得られ、高い就業意識を身につけることができます。さらに、将来の進路選択において自らの適性や能力について実践的に考える機会になります。クリエイティブ業界の最新の情報を得られるとともに、会社が求める人材に対するニーズが把握できる事も大きなメリットです。</p>			
【講義概要】			
<p>自分のポートフォリオを制作し、プレゼンテーションを行ないます。また、就職についての講義を行ないます。 就業体験（インターンシップ）をし、実習レポートをまとめて提出。（希望選択制）</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	1回目（講義：ポートフォリオについて）	18	ポートフォリオチェック
2	ポートフォリオチェック	19	制作
3	講義（面接・プレゼン）	20	個別アドバイス
4	制作	21	制作
5	ポートフォリオチェック	22	ポートフォリオチェック
6	制作	23	制作
7	ポートフォリオチェック	24	個別アドバイス
8	制作	25	制作
9	制作	26	制作
10	2回目（講義：クリエイティブの就職について）	27	ポートフォリオチェック
11	制作	28	制作
12	ポートフォリオチェック	29	制作
13	制作	30	4回目（講義：クリエイティブの就職について）
14	制作		
15	3回目（講義：クリエイティブの就職について）		
16	制作		
17			
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義及び実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1960生まれ。1980年立教大学経済学部経営学科中退。1984年東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。1986年同大学大学院美術研究科デザイン専攻修了。株式会社博報堂入社。 デザイナー、アートディレクター、を経てマネジメントディレクターとしてクリエイターの人材発掘と育成を担う。</p>			